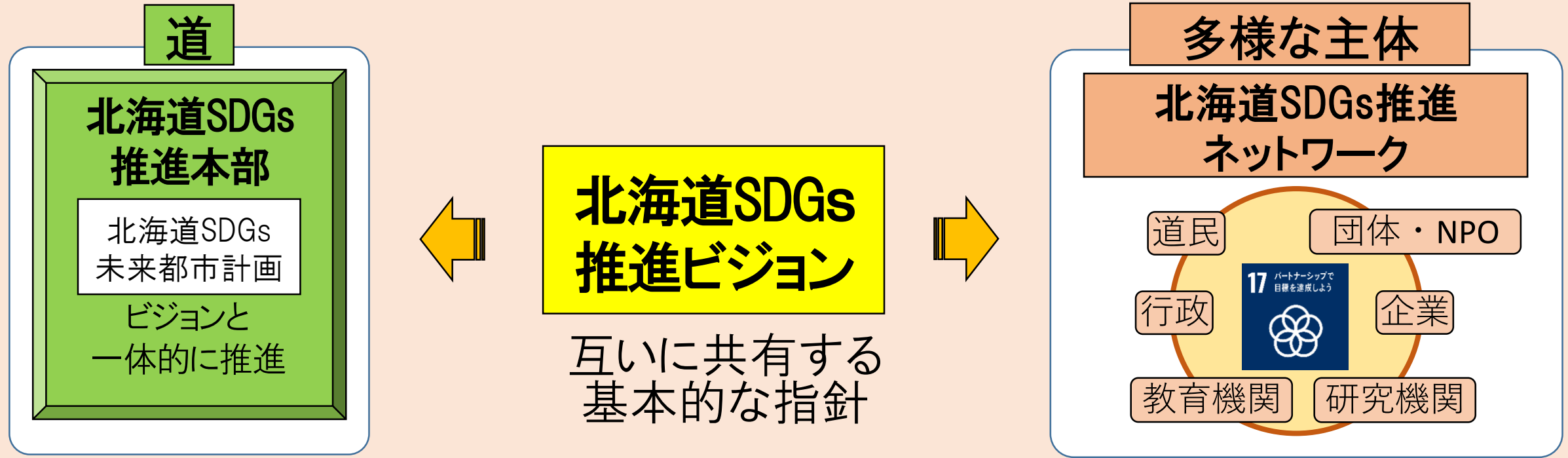


北海道SDGs推進ビジョンの進捗管理



ビジョンに掲げる各項目の進捗管理はもとより、多様な主体による取組状況を一体的に把握・整理

ホームページ等で推進状況を広く公表するなど、各主体間での共有を促し、それぞれの取組へ反映

令和5年度 北海道SDGs推進ビジョンの推進状況について

ビジョンが示す5つの優先課題

I あらゆる人々が将来の安全・
安心を実感できる社会の形成

II 環境・エネルギー先進地
「北海道」の実現

III 北海道の価値と強みを
活かした持続可能な経済成長

IV 未来を担う人づくり

V 持続可能で
個性あふれる地域づくり

北海道SDGs推進ネットワーク会員の取組例

優先課題I 関連

- ・安心で働きやすい職場環境の整備
- ・住民参加型訓練による防災意識醸成

優先課題II 関連

- ・環境保全団体への支援
- ・体験型環境教育の実施

優先課題III 関連

- ・規格外地場産品等を活用した商品開発
- ・道産木材の利用推進

優先課題IV 関連

- ・若年層の入職を促す就業イベント開催
- ・住民向けSDGs講座の展開

優先課題V 関連

- ・コミュニティバス活用による脱炭素化促進
- ・海外展開企業への支援

令和5年度 北海道SDGs推進ビジョンの推進状況について

道によるSDGs推進の取組

北海道SDGs推進ネットワークを活用した推進

会員数の状況

- ・2,444会員（令和6年2月末現在）

取組の見える化を促進

- ・SDGs取組状況を調査
好事例85件（前年度比+14件）を道ホームページで公開

会員向けサービスの提供

- ・連携協定締結企業等による無償SDGs診断、メルマガ配信（年間13回）

普及啓発セミナーの開催

- ・水産業の持続可能性をテーマとし、若者世代のSDGsの取組にも着目したセミナーを開催（剣淵高校生徒が事例発表、パネルディスカッションへ参加）

市町村支援事業の展開

- ・SDGsを対話ツールとして使用し、地域課題の解決を図るべく、専門講師による特別授業やワークショップのほか、自治体職員や高校生との意見交換を実施（道内6箇所 延べ412人参加）